

造園学特別研究 (4単位)

担当者氏名 服部勉・麻生恵・金子忠一・鈴木貢次郎・鈴木誠・高橋新平・・山崎元也

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

造園学に関する総論、造園史、調査法、計画、設計、施工、材料（生物と無機物）、マネジメントに関する高度な知識と技術を得る上で必要となる研究手法、応用能力の深化・総合力と博士論文作成能力を修得する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

博士論文	造園の総合化	造園植物・植栽	環境施設・機能
環境資源・生態	造園空間・計画	研究者の倫理観	

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	博士課程後期の概要	4領域の内容と年次計画	指導教員による個別の授業と要旨・資料作成を実施する。
2	研究領域の対象と手法①	「造園植物・植栽」領域の現状と展望	担当教員の出席の下、研究成果の討議、発表を重ね、専修領域を超えた幅広い視点から各自の成果を達成する能力を修得すると共に、確かな倫理観に立脚した研究者像を確立すること。
3	研究領域の対象と手法②	「環境施設・機能」領域の現状と展望	
4	研究領域の対象と手法③	「環境資源・生態」領域の現状と展望	
5	研究領域の対象と手法④	「造園空間・計画」領域の現状と展望	
6	論文作成の手順	博士論文に求められる内容	
7	テーマ設定と文献検索	論文テーマ設定、文献収集	
8	既往研究の検討方法	既往研究の整理・分析	
9	調査・実験の意義	調査・実験を実施するまでの手法論の検討	
10	論文の全体構成	論文構成のプロセス	
11	学術論文の投稿	関係学会などへの学術論文投稿のプロセスと対応	
12	論文執筆上の留意事項①	共著者の扱い方	
13	論文執筆上の留意事項②	学術論文作成における研究者としての倫理観	
14	プレゼンテーション法	効果的なプレゼンテーション、表現能力	
15	論文申請	審査概要の作成、審査報告会での対応法	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

講義に関する資料収集・資料の提示で評価する (100%)

◆オフィスアワー

指導教員の造園科学科の担当科目を参照

◆その他受講上の注意事項

日程については相談の上、決定し、後日掲示・連絡する